



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範

四半期報告書提出予定日 平成27年11月2日 配当支払開始予定日

TEL 06-6477-8404

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	180,186	8.7	12,594	32.8	14,336	29.5	10,199	△33.4
27年3月期第2四半期	165,725	△2.3	9,483	△3.1	11,068	3.5	15,324	101.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 8,268百万円 (△50.6%) 27年3月期第2四半期 16,748百万円 (51.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	155.53	—
27年3月期第2四半期	233.75	—

(注) 平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	285,312	181,191	61.4	2,672.65
27年3月期	275,302	174,838	61.5	2,582.19

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 175,275百万円 27年3月期 169,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	5.00	—	30.00	—
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合しております。平成27年3月期第2四半期末については当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。株式併合後の基準で換算した平成27年3月期の年間配当額は40円となります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	343,300	7.5	15,500	8.8	18,000	2.2	13,000	△38.3	198.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	69,430,069 株	27年3月期	69,430,069 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,848,720 株	27年3月期	3,860,644 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	65,575,904 株	27年3月期2Q	65,559,356 株

(注)平成26年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にある中、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、アメリカの金融政策の動向や、中国を始めとするアジア新興諸国の景気の下振れによる影響が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、食品部門は前年同期を下回ったものの、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は180,186百万円となり、前年同期(165,725百万円)に比べ、8.7%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、原材料価格が比較的安定していたことに加え、増収による固定費率のダウンや価格改定による売上原価率の改善等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、売上の伸長に伴う製品在庫の増加等により物流費率がアップし、量販店店頭での販売対策の実施等により販売促進費等も増加しました。

その結果、営業利益は12,594百万円で前年同期(9,483百万円)に比べ3,110百万円の増益となり、経常利益は14,336百万円で前年同期(11,068百万円)に比べ3,267百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,199百万円となり、固定資産売却益を計上した前年同期(15,324百万円)に比べ、5,125百万円の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高			営業利益		
	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比(%)
菓子	57,049	7,315	114.7	4,251	1,082	134.1
冷菓	50,430	3,154	106.7	5,917	1,542	135.3
食品	10,263	△518	95.2	110	△120	48.0
牛乳・乳製品	53,579	3,584	107.2	2,523	643	134.2
食品原料	5,681	550	110.7	320	78	132.3
その他	3,182	374	113.3	△84	△176	—
調整	—	—	—	△444	60	—
合計	180,186	14,461	108.7	12,594	3,110	132.8

<菓子部門>

売上面では、国内は“ビスコ”「ポッキーグループ」“神戸ローストショコラ”等が前年同期を上回りました。また、海外では、中国が前年同期を大きく上回った他、すべての子会社が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57,049百万円となり、前年同期(49,733百万円)に比べ14.7%の増収となりました。

利益面では、国内での販売品種構成の変化による売上原価率アップはあったものの、海外での売上原価率の改善や国内での販売促進費の効率運用等により、営業利益は4,251百万円となり、前年同期(3,169百万円)に比べ、1,082百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、“パピコ”“アイスの実”等が前年同期を上回りました。また、卸売販売子会社売上も前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は50,430百万円となり、前年同期(47,276百万円)に比べ6.7%の増収となりました。

利益面では、販売品種構成の変化や価格改定による売上原価率の改善及び販売促進費の削減等により、営業利益は5,917百万円となり、前年同期(4,374百万円)に比べ1,542百万円の増益となりました。

<食品部門>

売上面では、大幅なりリニューアルを実施した“熟カレー”は前年同期を上回りましたが、“カレー職人”等は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,263百万円となり、前年同期(10,781百万円)に比べ4.8%の減収となりました。

利益面では、リピートの効率運用に努めたものの、減収や広告費の増加等により、営業利益は110百万円となり、前年同期(230百万円)に比べ、120百万円の減益となりました。

<牛乳・乳製品部門>

売上面では、“朝食BifiXヨーグルト”等が前年同期を上回り、キリンビバレッジ(株)の“トロピカーナエッセンシャルズ”が増収となりました。また、「粉ミルク」がインバウンド需要を取り込んで、売上を大きく伸ばしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53,579百万円となり、前年同期(49,994百万円)に比べ7.2%の増収となりました。

利益面では、販売促進費は増加したものの、増収による売上原価率のダウンと広告宣伝費の減少等により、営業利益は2,523百万円となり、前年同期(1,879百万円)に比べ、643百万円の増益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、「ファインケミカル」「A-グル」等が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,681百万円となり、前年同期(5,130百万円)に比べ10.7%の増収となりました。

利益面では、運送費及び保管費は増加したものの、価格改定による売上原価率の改善等により、営業利益は320百万円となり、前年同期(242百万円)に比べ、78百万円の増益となりました。

<その他部門>

売上面では、オフィスグリコ部門及び健康部門(旧スポーツフーズ部門)がいずれも前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,182百万円となり、前年同期(2,807百万円)に比べ13.3%の増収となりました。

利益面では、販売品種構成の変化による売上原価率のアップや健康部門の新製品投入に係る販売促進費の増加等により、営業利益は△84百万円となり、前年同期(92百万円)に比べ176百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は285,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,009百万円増加しました。流動資産は141,177百万円となり、8,854百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加によるものです。固定資産は144,135百万円となり、1,155百万円増加しました。主な要因は、有形固定資産の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は104,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,656百万円増加しました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加となります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は181,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,353百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加となります。この結果、自己資本比率は61.4%(前連結会計年度末比0.1%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に発表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成27年10月30日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,110	44,611
受取手形及び売掛金	33,078	37,688
有価証券	29,248	23,579
商品及び製品	11,060	12,762
仕掛品	859	904
原材料及び貯蔵品	13,144	14,434
その他	7,897	7,285
貸倒引当金	△78	△91
流動資産合計	132,322	141,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,374	23,215
機械装置及び運搬具(純額)	28,271	29,123
土地	13,933	15,766
建設仮勘定	3,771	5,632
その他(純額)	4,355	4,483
有形固定資産合計	72,707	78,222
無形固定資産		
その他	3,203	3,228
無形固定資産合計	3,203	3,228
投資その他の資産		
投資有価証券	47,534	41,906
投資不動産(純額)	12,402	12,398
その他	7,188	8,435
貸倒引当金	△57	△55
投資その他の資産合計	67,068	62,684
固定資産合計	142,979	144,135
資産合計	275,302	285,312

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,564	33,567
短期借入金	7,621	4,668
1年内返済予定の長期借入金	4,000	4,271
未払費用	22,121	25,448
未払法人税等	5,401	3,793
販売促進引当金	1,509	1,671
役員賞与引当金	44	—
その他	8,468	9,853
流動負債合計	78,729	83,273
固定負債		
長期借入金	1,343	973
退職給付に係る負債	10,281	10,327
事業構造改善引当金	105	105
その他	10,004	9,439
固定負債合計	21,734	20,846
負債合計	100,464	104,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,484	7,753
利益剰余金	144,566	152,798
自己株式	△6,626	△6,826
株主資本合計	153,198	161,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,875	9,253
為替換算調整勘定	4,281	4,463
退職給付に係る調整累計額	△42	59
その他の包括利益累計額合計	16,114	13,776
非支配株主持分	5,526	5,915
純資産合計	174,838	181,191
負債純資産合計	275,302	285,312

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	165,725	180,186
売上原価	92,268	97,291
売上総利益	73,456	82,894
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	14,780	16,426
販売促進費	23,292	26,185
販売促進引当金繰入額	50	162
広告宣伝費	6,036	6,616
退職給付費用	480	447
その他	19,332	20,462
販売費及び一般管理費合計	63,972	70,300
営業利益	9,483	12,594
営業外収益		
受取利息	179	191
受取配当金	359	1,479
為替差益	624	—
その他	868	976
営業外収益合計	2,032	2,646
営業外費用		
支払利息	100	103
為替差損	—	478
その他	347	323
営業外費用合計	448	905
経常利益	11,068	14,336
特別利益		
投資有価証券償還益	—	402
投資有価証券売却益	247	55
固定資産売却益	11,948	—
その他	96	—
特別利益合計	12,291	457
特別損失		
減損損失	15	18
その他	0	—
特別損失合計	15	18
税金等調整前四半期純利益	23,344	14,775
法人税、住民税及び事業税	5,780	4,255
法人税等調整額	1,696	△43
法人税等合計	7,477	4,212
四半期純利益	15,866	10,562
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,324	10,199
非支配株主に帰属する四半期純利益	542	363

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,255	△2,621
為替換算調整勘定	△1,393	406
退職給付に係る調整額	93	103
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	△182
その他の包括利益合計	881	△2,294
四半期包括利益	16,748	8,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,437	7,861
非支配株主に係る四半期包括利益	311	406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売 上高	49,733	47,276	10,781	49,994	5,130	162,917	2,807	165,725	—	165,725
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	332	—	—	136	69	538	1,713	2,252	△2,252	—
計	50,066	47,276	10,781	50,131	5,199	163,456	4,521	167,977	△2,252	165,725
セグメント利益	3,169	4,374	230	1,879	242	9,897	92	9,989	△505	9,483

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額541百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,047百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注)3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売 上高	57,049	50,430	10,263	53,579	5,681	177,003	3,182	180,186	—	180,186
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	337	—	—	313	85	737	1,873	2,610	△2,610	—
計	57,387	50,430	10,263	53,893	5,766	177,741	5,055	182,796	△2,610	180,186
セグメント利益又は 損失	4,251	5,917	110	2,523	320	13,123	△84	13,039	△444	12,594

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門(旧スポーツフーズ部門)、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△444百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額502百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△946百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。